

ちば民報

定価一部50円 月ぎめ150円
 毎第1・第2・第3日曜日
 月3回発行
 発行所・〒260-0031
 千葉市中央区新千葉3-16-15
 電話・043(241)4311
 FAX・043(241)9475
 ちば民報社

新年あけまして
おめでとうございます



—編集部

ちば民報のメールアドレス: chiba-minpo@nifty.com

励まされた餅つき

「首を切られて不安を抱えた1年前とは気分が違う。先が見えた。あとは職場に戻ってがんばるだけ」と、諏訪さんは喜びの胸の内を吐露します。

組合経験はゼロ

SST社は2008年に県が誘致した企業で、県のおおまかな手厚い補助を受けてきた企業です。99・99%以上の高純度のシリコン材料を研究開発し、大量生産するとの謳い文句で投資家を募ってきたベンチャー企業です。

広がる支援の輪

会社は創業以来、労働者を残業で追いついて土日も働くおきながら、残業・休日手当の一部不払いを続けていました。そのうえ、一昨年4月には一方的に賃金の一律5%カットを強行しました。

「かずさアカデミアパーク」に誘致した太陽光パネル製造販売会社「ソーラーシリコンテクノロジー」(SST)社、木更津市、手塚博文社長、従業員75人(当時)による、組合潰しの乱暴な「整理解雇」。組合員17名が「解雇差止め、地位保全の仮処分」を千葉地裁木更津支部に申立ててから約1年、「解雇撤回・希望者全員の仕事復帰」のスピード和解が成立しました。ほぼ全面的勝利の喜びに湧く全日本金属情報機器労働組合(JMIU)千葉地方本部ソーラーシリコンテクノロジー支部(SST支部)の諏訪充委員長(39歳)と野宮聖二副委員長(46歳)からお話を伺いました。



勝ち取ったぞ! 職場復帰

会社は組合潰しの攻撃をしかけます。まず毎朝の朝礼で、「社員の中にウジ虫がいる」等の言動に及び、「社内組合なら組合費も負担し

「餅つき大会」を開いてもらい、「年越しができて勇気付けられた」、「絶対勝てるし、諦めない」と確信を持ってやってきましたと語ります。

2月4日、木更津労働基準監督署へ申立てていた「未払い残業代」について、労基署は「是正勧告命令」をSST社に出します。そして3月30日、裁判所は不当労働行為の判断は避けなかったものの、整理解雇を無効と判断、新たに就職した4名をのぞく12名の組合員(小菅さんの「退職書」は有効と判断し除外)について、基本給の75%の仮払いを命

勝利へのカギは

こうして昨年12月2日、和解が調印されました。裁判所の決定から除外された小菅さんの職場復帰も認められ、諏訪さんは、「家族の理解に支えられたこと、一節目ふしめで、労基署の是正勧告や裁判所の決定を得て励まされた」といいます。

諏訪さんと野宮さんに、訴訟中の活動で心がけたことを聞きました。

諏訪さんは「家族の理解に支えられたこと、一節目ふしめで、労基署の是正勧告や裁判所の決定を得て励まされた」といいます。

野宮さんは、争議後最初の年越しで、地元の人々に「餅つき大会」を開いてもらい、「年越しができて勇気付けられた」、「絶対勝てるし、諦めない」と確信を持ってやってきましたと語ります。



県庁前で「明るい民主県政をつくる会」などと統一行動



インタビューに応える諏訪さん(左)、野宮さん

1月のちば民報は15日、22日発行です

別れ際に野宮さん「実はまだ独身なんです。募集中なので、よろしく」と笑顔で語ります。これは書かなくては。

(文・佐藤美)

(写真・佐久間勉)

▼ソーラーシリコンテクノロジー支部 〒292-10815 木更津市大久保6-22-3 ☎0990-1293517758

kurim@20@jcom.home.jp